

資料56 キャリア教育シラバス掲載例

キャリア教育シラバス掲載例

Utsunomiya University. Syllabus

授業科目名 人間と社会(アクティブ・ラーニング科目)
Human and Society (Active learning subject)

開講時期	前期	曜日・時限	火:5-6	時間割コード	G870001
開講学部等	基盤教育	科目等履修生の受入		受入可	
科目区分	基盤キャリア教育科目	単位数	2	授業形態	講義
担当教員名	*末廣 啓子				
電話番号	028-649-5093	電子メール	suehirok@cc.utsunomiya-u.ac.jp		
オフィスアワー	火曜日14:30～15:15				

【授業の内容】

経済・社会の変化に伴って、働き方・働かせ方が大きく変化している。その中で生涯を通じてどのようにどんな職業と関わるのか、どう生きるのかを考え、主体的に選択していくこととなる。そのためにはまず、自分が船出していくこの社会や経済、産業、職業など働くことに関する現実を正しく理解することがとても大切である。この授業はこうした働くことに関するさまざまなテーマについて最新の情報により、その実態と課題を正しく理解するとともに、視野を広げ、自分の進路について考えるきっかけを得ることができる基礎的なキャリア教育科目である。

【授業の到達目標】

自分がどんなキャリアデザインを描くのか、どんな職業選択をするのか、そのためにはどんな大学生を送ったらよいかを考える材料ときっかけとして、まず、大きく変容している経済・社会、産業そして、企業経営・人事の方針、働き方の多様化、職業の実態と問題点、働く者を守る法制度などを正しく理解する。

【学習・教育目標との関連】

変化する社会の中で未来を切り開く知力と行動力を持ち、社会的・職業的に自立して新しい時代に自分らしく活躍するために必要な、基盤となる姿勢と能力を育成する場を提供する。

【前提とする知識、関連する科目等】

特になし。

【授業の具体的な進め方】

経済、産業、企業、労働、雇用等に関する様々なテーマについて、講義形式で最新の情報を提供して解説するほか、企業人等の外部講師による講義、インタビュー、受講生同士で意見や情報交換をするグループワークなども交え多面的に展開する。全学部・全学年の人と共に学び、話し合うことができることが大きな特徴である。

【授業計画】

- 1 イントロダクション (授業のねらい、授業計画等)
- 2 いま、はたらくとは何か(現実を認識し、働くことの意味を問い直す)
 - ①若者の雇用・失業の現実とその対応(高水準の完全失業率・離職率、ニート・フリーター問題を考える、など)
 - ②産業・職業の動向、企業の経営・人事戦略の変化と企業の求める人材、働き方の多様化(「終身雇用」の変化、就業・雇用形態の多様化、など)
 - ③働く人の側の変化 (高齢化・少子化、女性の進出、など)
 - ④今、会社はどうなっているか、若者へ何を期待するか (企業の人事担当者などのゲストスピーカーを予定)
 - ⑤ベンチャー企業等新規創業の役割と実態 (ベンチャー企業等新規創業の役割と実態、起業

家精神育成教育(小・中・高校生向けプログラム), 創業支援策など)

⑥ 男女の雇用機会均等、仕事と生活の調和に向けての取り組み

⑦ 働くときに必要な労働関係の法制度・政策 (働く者を保護する法制度や仕組みと実態、労働組合の活動、様々な雇用対策)

3. 職業とは、働くとは、キャリアとは

(自分らしい生き方、キャリア形成に向けて)

【教科書・参考書・教材等】

参考書

「キャリアのみかた 一図で見る110のポイント」

阿部正浩他 有斐閣

その他、適宜参考資料などを配布する

【成績評価】

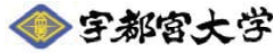
出席日数(30%),授業への参加状況及び期末レポート

【学習上の助言】

皆さんが卒業して出ていく社会や経済は様々に変化しています。それに目を向け好奇心と意欲を持って参加してください。1,2年生からの履修をお勧めしますが、就職活動に入る時期の学生にも知ってほしい基本的な知識です。陽東と峰で開講します。

資料57 学生支援プロジェクト

学生支援プロジェクト



トップページ
toppage

問い合わせ
contact

トップページ	センターの概要	キャリア教育	進路・就職相談	就職ガイダンス・セミナー情報	インターンシップ概要	学生の皆さんへ	企業採用担当者様へ	Q & A
--------	---------	--------	---------	----------------	------------	---------	-----------	-------

トップページ >> 学生支援プロジェクト

学生支援プロジェクト

事業の目的は・・・

本事業は、学生自らが企画・実践するプロジェクトを支援することにより、学生が持つ素質や能力を最大限に引き出し、実社会において必要とされる積極性、主体性、協調性、独創性、コミュニケーション力及び、課題解決能力を養い、学生自らが生き方、働き方を考え、キャリアデザインの実現に導くことを目的としています。

支援の内容は・・・

- (1) 学生ならではのユニークで、意欲的なテーマのプロジェクトを広く公募し、応募プロジェクトの中から一年度に5件程度を選出し、30万円を限度とする活動費を補助
- (2) 選出したプロジェクトについて、その目標達成のため必要に応じての指導・助言

応募資格は・・・

- (1) 本学の学生3名以上で構成するチームであること。本学の学生以外のメンバーが所属するチームの場合は不可とする。
- (2) チームの代表者が単独で企画したものではなく、構成員の合意に基づき計画されたオリジナルな企画であること。
- (3) 特定の学部・学科、サークル等が通常実施する事業または、卒論(修論)テーマに関係する企画でないこと。

支援プロジェクトの募集について・・・

★平成26年度

- ◎募集期間 平成26年 4月25日～ 平成26年 5月23日
- ◎選考期間 平成26年 5月下旬～ 平成26年6月上旬
- ◎活動期間 平成26年 6月上旬～ 平成26年11月末
- ◎説明会 平成26年 5月9日(金) 16:30～17:30 UUプラザ2Fコミュニティフロア

※説明会は「峰が丘地域貢献ファンド」学生企画事業及び「大学コンソーシアムとちぎ」学生活動支援事業と同時開催となります。なお、募集内容についての詳細は、下記要領をご覧ください。

詳細は、『プロジェクト募集要領』(PDF/142KB)をご覧ください。

★応募用紙ダウンロード(EXCEL/47KB)★

採択プロジェクト・・・

★平成25年度採択分

- ①テーマ:宇都宮大学の生乳を生かした新商品開発
宇都宮大学附属農場の生乳で作製したバターを使って新商品「バターケーキ」を作り商品化する。
チーム:農学研究科・生物生産科学専攻修士1年 佐藤 あかね 他10名
支援額:300,000円
- ②テーマ:空を飛ぶ次世代商業サービスを創る
搭載型(プロジェクター又はカメラ)小型無人飛行機を設計・製作し、実際に投影・撮影を行う。
チーム:工学研究科・機械知能工学専攻修士1年 井上 知行 他3名
支援額:300,000円
- ③テーマ:農場・農産物の広報活動
宇都宮大学附属農場の生産物を使ってのレシピ紹介、試食会を行い附属農場の良さを広める。
チーム:教育学部・学校教育専攻1年 福田 早紀人 他8名
支援額:300,000円

★平成24年度採択分 (24年度報告会を実施しました。各報告はテーマをクリックしてください。)

- ①テーマ:東日本大震災 復興に向けて努力している人から学ぶ
被災地の現状やこれまでの伝えるため、岩手県、宮城県、福島県から震災復興に向けて努力している方を講師としてお招きし、学生や大学周辺の住民を対象とした講演会等を企画
チーム:教育学部 総合人間形成過程3年 渡邊千花ほか4名
支援額:242,000円
- ②テーマ:Kids World 君たちが主役だ! 「とちぎの職業体験」
子供たちに社会にはどんな仕事があるのか、また、それは社会の中でどんな役割を果たしているのかなどを学びきっかけに
にしてみようために、小学生を対象とした会社見学会・職業体験等を企画
チーム:農学部農業経済学科2年 佐藤明良ほか18名
支援額:219,000円
- ③テーマ:日本の伝統文化に触れる ー楽しい邦楽の世界ー
日本の伝統文化を学ぶ機会として、学生や大学周辺住民を対象とした長唄の演奏等を企画

チーム:工学部情報工学科4年 御子貝成仁ほか7名

支援額:179,000円

★平成23年度採択分

①テーマ:原発関連映画上映会

本学関係者に対し、原子力政策や、放射能・被曝のメカニズムなど原子力事情について考えてもらうきっかけを作るため、

鎌仲ひとみ監督が作成した映画(原発関連)3作品の上映会を企画

チーム:国際学部国際社会学科4年 赤坂優実ほか2名

支援額:290,000円

②テーマ:宇大はおいしいフェア

宇大附属農場の自慢のミルクをより多くの地元の栃木県の人に伝えるため、本学のミルクを使った乳製品等の販売や講演

会を企画
チーム:農学研究科生物生産科学専攻1年 山口美緒ほか10名

支援額:300,000円

★平成22年度採択分

①テーマ:AMAHOROコンサート ~アフリカのルワンダ・ダンスを通して平和について考えよう~

地域の方々等を対象に、平和教育、アフリカ理解等を参加者が気付き、考える機会になる様、アフリカ・ルワンダの方々の講演、ダンス&ミュージックコンサートを企画

チーム:国際学部国際社会学科4年 佐藤杏子ほか41名

支援額:293,000円

②テーマ:遊びから学ぶエコロジー ~モノの命を大切にしよう~

子供たちが親や、学生たちとふれあい、ペットボトルや使い終わった割り箸など身近なものを利用しておもちゃの作成、

外

で生き物探検のプログラムを企画

チーム:農学部生物生産学科4年 松本隆平ほか15名

支援額:115,000円

③テーマ:宇都宮!古紙回収でトイレトペーパー ~エコ大学推進計画~

近年他大学で学内古紙を用いたトイレトペーパー化事業を行っているところが増えていることから、宇都宮大学でも学

内

古紙によってトイレトペーパー化が可能かどうか、他大学を調査・検討を企画

チーム:農学部農業環境工学科2年 野々村拓真ほか10名

支援額:83,000円

④テーマ:エコ学祭2010

エコ学祭を通じて、学生、一般市民の方々に環境問題への意識を高めてもらうため、使い捨て容器及び割り箸等を環

境

配慮型のものを使用、分別回収の徹底、廃油の回収などを企画

チーム:国際学部国際社会学科2年 逸見菜ほか21名

支援額:114,000円

**資料58 宇都宮大学キャリア教育・就職
支援センター規程**

宇都宮大学キャリア教育・就職支援センター規程

制 定 平成18年 規程第76号
一部改正 平成22年 規程第43号

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人宇都宮大学組織規程第19条の3第2項の規定に基づき、宇都宮大学キャリア教育・就職支援センター（以下「センター」という。）の組織及び運営等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、学生のキャリア教育及び就職活動を支援することを目的とする。

(任務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- 一 キャリア教育及び就職活動支援に関すること。
- 二 進路・就職相談に関すること。
- 三 インターンシップに関すること。
- 四 宇都宮大学職業紹介業務運営規程に定める職業紹介業務に関すること。
- 五 就職先の開拓及び求人相談に関すること。
- 六 学内部局及び学外機関との連携に関すること。
- 七 その他前条の目的を達成するために必要なこと。

(管理運営についての審議)

第4条 センターの管理運営についての審議は、宇都宮大学学務委員会が行う。ただし、教員人事についての審議は、宇都宮大学人事調整会議が行う。

(組織)

第5条 センターに、次の者を置く。

- 一 センター長
- 二 副センター長
- 三 専任教員
- 四 協力教員 4名
- 五 非常勤職員 若干名
- 六 その他学長が必要と認めた者

(センター長)

第6条 センター長は、学長が指名する者をもって充てる。

2 センター長は、センターの業務を掌理する。

(副センター長)

第7条 副センター長は、第5条第3号の専任教員をもって充てる。

2 副センター長は、センター長を補佐し、センター長に事故ある時は、その職務を代行する。

(専任教員の選考)

第8条 専任教員の選考に関し必要な事項は、別に定める。

(協力教員)

第9条 協力教員は、各学部（研究科を含む。）から選出された教員各1名を持って充てる。

2 協力教員は、学長が委嘱する。

3 協力教員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、協力教員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(事務)

第10条 センターに関する事務は、学務部キャリア教育・就職支援室において処理する。

(補則)

第11条 この規程に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この規程は、平成19年1月1日から施行する。

2 この規程の施行後第9条第1項の規定により最初に各学部から選出された教員の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、平成20年3月31日までとする。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。